

▼概要

老朽化した郡山市更生園の再整備に向けた「民間活力の導入可能性調査」を実施するにあたり、付加価値として新たな子育て支援機能を追加することを仕様に盛り込みたい。

(1) 更生園の再整備の方向性

「障がい者自立支援協議会」と「社会福祉審議会」の主な意見

- ・施設の老朽化が進んでいるため、利用者の利便性を考えると建て替えが必要。
- ・生活介護等、現在のサービスは継続してほしい。
- ・現在にサービスに加え、医療的ケアや短期入所等の機能の追加を検討すべき。
- ・ニーズに合わせたサービスが提供できるよう、専門的スタッフが必要。



現在の更生園としてのサービスを継続しつつ、今後ニーズが増加していく医療的ケア等に対応できる機能（24時間対応）を備えた新施設が必要。

現在の更生園



- 施設種別 障害福祉サービス事業所（生活介護）
- 定員 30名
- 建築年度 昭和45（1970）年度
- 建物構造 鉄筋コンクリート造1階建
- 延床面積 398平方メートル
- 運営主体 社会福祉法人郡山市社会福祉事業団
（指定管理 現協定期間：2024年3月31日まで）

(2) 子育て世帯の現状と、必要とされる子育て支援策

社会構造等の変化

- ・大家族から核家族化へ
- ・共働き世帯の増加
- ・適切な生活リズムが作れない
- ・発達障害など、育てにくい子どもの増加



子育て世帯の現状

- ・余裕を持った子育てが困難に
- ・知識不足等による養育力が未熟な親の増加
- ・夫婦関係の不和やDVの増加
- ・児童虐待の増加



強化・創出が必要な子育て支援機能

- ・育児疲れ等の、親の負担を軽減するためのサービス
- ・朝起きてから夜寝るまで、専門スタッフによる育児指導
- ・乱れた生活リズムの立て直しを親子一緒に行う機能

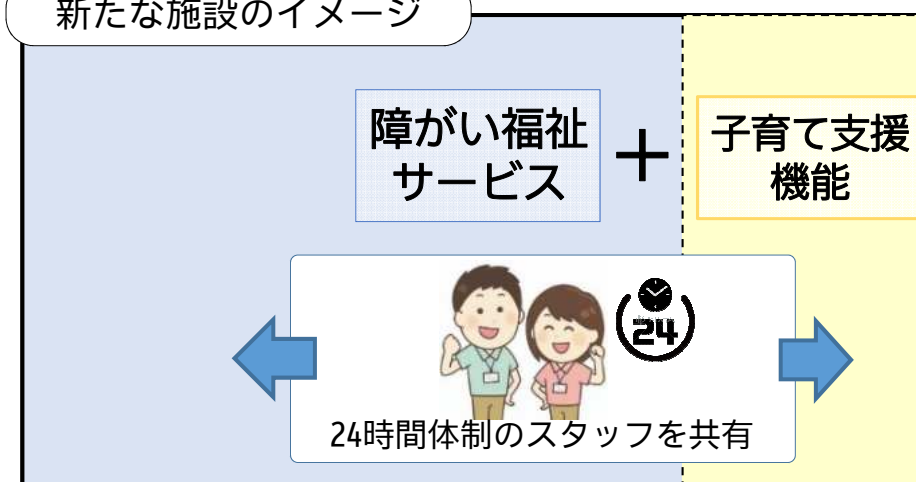
(3) 新たな施設の機能を有効活用した子育て支援拡充の可能性

◆子育て支援機能を追加した「障がい者福祉施設」を民間活力の利用により設置・運営可能か調査する。

○新たな施設での子育て支援の考え方

- ・付加価値としての子育て支援機能
- ・障がい福祉サービスと連携した親子の支援
- ・24時間体制の専門的スタッフを共有

新たな施設のイメージ



(4) スケジュール

